

# News Letter

第5号

2014, 10. 24

国際理解部

来週の31日金曜日は国際理解講演会で、NPOルワンダの教育を考える会 理事長の永遠瑠マリーリスさんが来校します！

大切なもの 命・平和・教育 ～子どもたちの未来のために～

をテーマにお話をさせていただきます。

有意義な講演会にするべく、ルワンダについて予習を行いましょう！

その1:ルワンダってどこ？



その2:生活状況は・・・

ルワンダの日常生活で使うもののほとんどは輸入品。ペン、コップ、携帯電話、ケチャップ、砂糖はすべて輸入品。ルワンダは内陸国で、どこから何を持ってくるにもトラックで運ばなければならないため、値段は結構高くなり、アジアで生活するのに比べると物価は高く感じます。ルワンダ産のものといえば、バナナ、ジャガイモ、豆、トマトなどで、自然の恵みばかりです。

その3:ルワンダの基本情報が知りたい！！！！

首都	キガリ（南緯1°、東経30°）
人口	1180万人
言語	ルワンダ語、英語、フランス語（すべて公用語）
宗教	カトリック、プロテスタント、イスラム教ほか
産業	コーヒー、紅茶、観光、地下資源
一人当たりの国民総所得	<b>570</b> ドル ※日本は <b>44,900</b> ドル
国土	26,338 km <sup>2</sup> （四国の約1.5倍）

その4:ルワンダ内戦って？？？

ベルギーの信託統治領時代からの少数派支配ツチ族と、クーデターで政権を握った多数派フツ族の間で1990年勃発した内戦。1994年に内戦は激化し、大規模な虐殺が続き、死者は80万人～100万人を超えた。（犠牲者はほぼ少数派のツチ族）報復を恐れた多数派のフツ族約200万人がコンゴやタンザニアへ流出した。

## 【番外編】

地理選択の授業で、ルワンダ内戦について調べた際の生徒の感想を紹介します。



【2年5組 丹野実紅さん】

自分の知らないところでこんなに怖いことが起きているなんて…。テレビで戦争のニュースを見ますが、今までは興味すら持たなかったのですが、最悪な事なんだと改めて感じました。そして自分は幸せだと感じました。

【2年5組 平賀由莉さん】

殺されるべきではない人が無差別に殺されていく、そんな状況で生きていた人たちはどれほどの恐怖と痛みを味わったのかと思うと胸が苦しくなった。きっと、毎日毎日、いつ殺されるのかとおびえながら恐怖と戦っていたのだと思う。

【2年5組 大塚野花さん】

内戦の写真を見てショックを受けました。子どもまでが血だらけで、土の中から白骨化した遺体が見えていたり、怖かったです。怖かったけど、その分、今まで自分がどんなに平和に暮らしていたかが分かりました。そして身の周りの、ちっぽけな事で落ち込んだりしていた自分が馬鹿らしく思えました。



【2年2組 門間美侑さん】

母親が亡くなっていることが分からず、ミルクが飲みたいと死体のそばで泣いている子どもの写真があった。私はその写真を見て驚いたし、それ以上に悲しくなった。この内戦がなければ母親は殺されることなく子どもも十分にミルクを飲めたのに…。大人の殺し合いによる子ども達に対する影響は計り知れない。

1994年に大変な内戦があったルワンダ・・・

そのルワンダ出身の永遠璃マリールイズさんが語る

「大切なもの」とは・・・